

令和7年度

## 聴講生の皆さんから寄せられた 感想の一部を紹介します

### ☆☆小学校で聴講された皆さんの感想☆☆

#### Aさん（男性 扶桑東小学校で6年生の図画工作を受講）

校内の写生を行いました。事前に遠近法の勉強をしました。近くの物は大きく、遠くの物は小さく、体育館から見て画用紙に逆三角形に線を引き、屋根部分を線に沿って描き、窓を描き、コンクリートの土台を描く。写真と違ってこまごまとした物は描いたり省略したりと、難しいし、ガラスの色などの色付けも大変でした。

工作では、本年の干支「馬」を作りました。デザインでは競争馬のイメージで作成にかけました。骨になる部分は針金をペンチで曲げ、台座に取り付けました。次に粘土を針金に付けます。これが大変で、粘土が針金に付きにくく、何度も上から付けました。太った馬となりました。太った首、太った足、太った尻尾となりました。競争馬のイメージからかけ離れました。残念です。どう見ても熊にしか見えません。何度も粘土を付けたので、太った馬になりました。先生の指導は粘土と絵の具をよく混ぜて、茶色の粘土を作って付ける予定が、逆になり、乾いてから色付けしたので、凹凸の部分が見えてしまいました。残念ですが、順序を間違えると大変な作品となりました。取り返しのつかない太った熊となりました。脳力の低下は注意力の衰え、先を見る目がなくならないように今後力をつけたいと思います。

先生には大変お世話になりました。親切なご指導感謝します。教育委員会、扶桑東小学校の先生、ありがとうございました。今後とも、よろしくお願ひします。

#### Bさん（女性 高雄小学校で6年生の外国語活動を受講）

早いもので、もう一年が終わろうとしています。昨年の5年生から急に英語の授業が難しくなり、この一年は毎回予習をしていかないと、なかなか授業にもついていくことができないので大変でした。

iPad は相変わらず使いこなすことができず、いまだに苦勞しています。児童に聞いても、私の質問の仕方が悪いのか、言っていることがわからないとつきはなされる始末です。つい先日から iPad も徐々に新しいものによっていくようで、また最初から学び直さないといけません。

話は変わりますが、3年生の子どもたちの給食センターへの野外活動についていった時はとても大変でした。外を歩く子どもたちを見ていて、先生方の苦勞と大変さを実感しました。子どもたちはルンルン気分だけに、見守る側としての立場を痛感させられました。

今まで四年間、私と一緒に学んだ6年生の子どもたちも、もう卒業してしまうので、とても寂しいかぎりです。

来年度については、できることならばいっしょに中学校に進みたかったのですが、今の状態ではストレスになってしまうかもしれないので、中学校はあきらめて、小学校で苦手な歴史を学びたいと考えています。音楽にも興味はあるのですが、時間的に余裕がないと、なかなか楽しむことはできないかもしれませんね。

これから来年度まで、ゆっくり考えていくこととします。

## C さん（男性 扶桑北中学校で1年生の国語・社会・英語を受講）

昨年は、聴講生として1年間お世話になりました。振り返ると沢山の「驚きと感動」を頂き、担任及び選択科目（国語・社会・英語）の先生方、そして33人のクラスメイトには大変感謝しています。その中の幾つかを紹介します。

先ず「驚き」ですが、私の中学時代の授業風景から一変していたことです。現在の授業では個々だけでなく、グループワークが多くあり、ペアや4人でグループを組み、答えを考えたり話し合ったりします。また、英語の授業では、会話重視型で外国人教師と会話する機会も多くありました。

次に「感動」ですが、4月に入学して、しばらく経った頃、選択科目が終わり校舎前を歩いていたら、「山田さ～ん、さようなら。明日も頑張りましょう。」と三階にある教室の窓からクラスメイトが声を掛けてくれた事です。私は恥ずかしくて無言で手を振るのが精一杯でしたが、とても嬉しかったです。

もう一つの感動は、体育大会の事です。私は、応援や見学をしているだけでしたが、クラスの生徒達は数週間前からリレー、大縄跳び等を練習していました。最初の頃は、大縄跳びは20回も跳べなくて、クラスがバラバラのようで少し心配していました。で

も、本番の体育大会では大縄跳びを28回も跳び、競遊リレーではクラス優勝し、ブロックも優勝を成し遂げました。おそらく、生徒達は互いに話し合い、工夫をし、絆を深めたのではないのでしょうか。目標に向かって一致団結し、頑張る姿！感動をありがとう！！

この1年、生徒達は心も体も格段に成長していて、それを身近で見られて幸いでした。4月から生徒達は、クラス替えを行い、2年生へ進むそうです。「あさがお」のようにグングン空に向かって伸びていく姿を、もう少し見たいから、私も2年生へ進級したいと思っています。

## **Dさん（男性 扶桑東小学校で4年生の国語を受講）**

初めて4年1組の教室に入った時、子どもたちから次々に質問を受けた。「好きな食べ物は何ですか？」「どうしてこの小学校に来たんですか？」「理系、文系、体育系のどのタイプですか？」「得意な科目は何ですか？」・・・黒板の前で私が自己紹介をした後、担任の先生が、少し時間があるけど長瀬さんに質問がある人はいますかと聞いた直後のことだった。子どもたちが堂々と手を挙げて積極的に質問する姿にとにかく驚いた。クラスの子どもたちが、聴講生の私を受け入れてくれているという雰囲気が伝わってきて嬉しかった。

国語の授業は毎回あっという間に終わってしまう。小中高とずっと苦手で嫌いな科目の国語が、これほど楽しい授業になるとは自分自身、意外だった。自分が子どもの頃の授業のことはほとんど覚えていないが、今の授業とは違う気がする。このクラスでは、先生が常に子どもたちに問いかけて、子どもたちは考え、自分の意見をどんどん発言する。私の過去の授業を想像すると、先生が子どもに正解を求めたり、正解を言える子が手を挙げていたりのようなイメージだ。今は全くそんなふうではない。子どもたちは楽しく自由に考えて、それを積極的に発言している。実際、毎回子どもたちの意見や考えを聞くのが本当に楽しみだった。子どもたちがそれぞれいろんな考えを持っていて、それを堂々と発言している。私も時々手を挙げると先生もあててくれる。クラスのみみんなと一緒に学んでいるという実感がわく。

こんな素敵なクラス、先生、扶桑東小学校に出会えて最高の体験になりました。私の一生の思い出、宝物になります。聴講生として受け入れてくださり、心からお礼を言いたいです。ありがとう。